

コラム

みやちゃん と ご一緒体験記

Vol.18

【新しい日常を生きる④ ～声をあげられない人たちを支援する～】

コロナ感染拡大でこれまでフツーに行ってきた事や交流してきた仲間たちとの時間が制限されると、さすがに閉塞感を覚えるものです。その上、身体にこたえる熱中症との闘い。

私は現在、仕事もプライベートもなるべくオンラインですませておりますが、諸事情でオンラインが使用できない仲間たちから、時々電話をいただき繋がりを保っています。表現が少し違うだけで彼等の感想はほぼ一致しています。

- 人生で一番辛い時期
- これほど窮屈な経験はかつてしたことがない
- 自分が生きている間にこんな大事件に遭遇するとは思わなかった
- 「欲しがりません、勝つまでは！」と言いつけていた毎日
- 出口の見えない未来が不安

ホント、戦時中の方々はいつ終わるかかわからず、モノ不足で十分な食料もなく、言論統制の厳しい時代に辛抱の日々を重ね、それでも明日へと希望を繋いでこられたのだと、改めてその大変さが実感できます。終戦から70年以上が経過し、まがまがしい戦争を知る世代が少なくなりつつありますが、戦争世代の方々の忍苦の上に、現在の平和と繁栄が構築されたという事実を忘れてはなりませんよね。それに比べればコロナ禍なんて……と思いたいものですが……。

本コラム【新しい日常を生きる】シリーズVol.16では、在宅要支援高齢者対策をとりあげましたが、コロナ禍の中、対策が急がれるのは高齢者支援だけではありません。重度障害者、虐待、性被害者のケアも同様です。

8月12日夜開催された「第2回 オンライン江尻メディカルカフェ」（庄司産婦人科/HAP共催）のテーマは、「コロナがもたらした変化 ～日本の光と影～」。1部では、HAP理事長の“みやちゃん”こと宮原富士子さんが緊急避妊ピルをめぐる様々な動向について話しました。続く2部では、「コロナ禍により加速する虐待と性被害 ～児相も警察も助けられないSOSの実態」というテーマで被害者救済活動にあたる竹田淳子さんに産婦人科医の谷内麻子先生がお話を聞きました。

特に、家庭内における性被害者の数が、コロナ禍によって増加しているようです。言うまでもなく、外出や移動の自粛によって家の中で過ごす時間が増えているからです。コロナ感染拡大のまっただ中、「安全なのは家の中なので“ステイホーム“と推奨されているのに、家の中が危険地帯だとしたら……。性被害に遭遇する未成年者（特に少女）数が増加し助けを求めているのに声をあげられないとしたら……？

家の中で少女が性被害を受ける事例とは、養父、母親の交際相手、実父による性犯罪です。中でも実父によるものが多く、驚くことに社会的に「センセー」といわれる方々（教師、弁護士、医師など）によるものが多いという衝撃的な事実、この日、全国からオンライン参加した医療関係者は愕然としたことでしょう。


家の中が安全でないなら、少女たちはどこへ避難しコロナから身を守ればいいのでしょうか。しかも実父が「センセー」として世間的に尊敬を集めているため周囲に相談しても信じてもらえないという現実に直面し、彼女たちは声をあげることができません。

児相（児童相談所）や警察などの公の機関に相手にしてもらえない少女たちは、SNSなどを通じて被害者救済活動にあたる竹田さんを頼ってきて、「親は悪くない、私が悪い子だから親がこんなことをする……」と自分を責めつつ親をかばうそうです。実の親から性被害を受けているのに、自分が悪いのでしょうか？

性行為の果てには妊娠というケースがつきものです。年若い少女が妊娠をし、しかも宿してはいけない子どもをみごもっても堕ろすことができない状態になったとしたら、被害者の心身、そして未来に深い影を落とすでしょう。緊急避妊ピルは、妊娠を望まない困った状況に陥った女性がのむべき薬なのに、緊急時に処方されないのは残念でたまりません。「緊急〇〇」と名のつくものは、ホントに困った人にわたるべきものです。

1時間10分ほどのカフェは、真夏の夜の怪談話よりも怖く心が凍るような時間となりました。

緊急避妊ピル絡みでは、少し前の7月30日にオンライン開催された「第2回 女性の健康支援」では、



緊急避妊ピルをテーマに産婦人科医の柴田綾子先生がお話されました。それによると、年間16万件もの人工妊娠中絶術が行われているそうです。手術をしないですむように緊急避妊ピルが、必要な人にすぐに渡るようになるといいですね。緊急避妊ピルは人生を左右する「エッセンシャルドラッグ」という表現がとても印象的でした。

少女たちの人生を左右する残酷な現実。おせっかい活動は、当事者の家族や医療従事者だけの役目ではありません。Safety Netの輪を広げて助けを求める人のSOSを感じ取り受け止めたいものです。

